

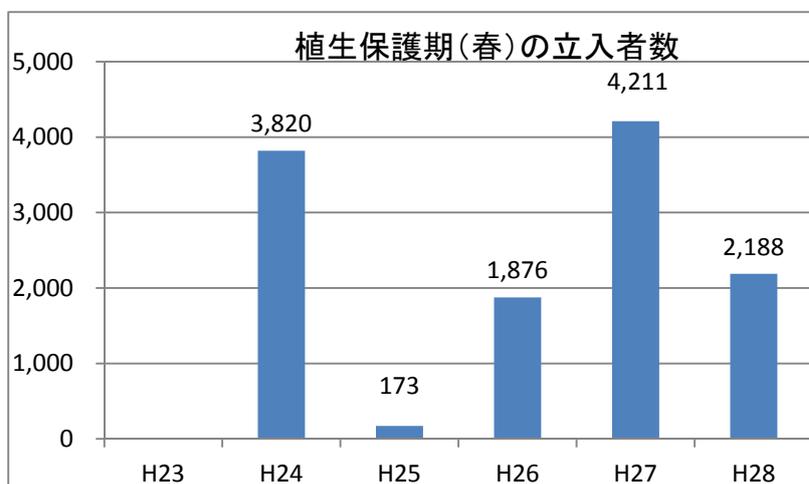
知床五湖地区における取組の進捗状況

トピック

1. 植生保護期（開園から5月9日）における地上遊歩道の立入者数は2,188名（前年比48%減）であった。積雪量が少なく例年より早い4月27日に大ループを開放（前年は5月8日に開放）した。一方で、連休中に降雪・強風による閉鎖が相次ぎ、立入者数落ち込みの要因となった。
2. ヒグマ活動期（5月10日から7月31日）における地上遊歩道の立入者数は14,807名（前年比7%増）であった。期間中のヒグマ遭遇回数は過去2番目に多く、46回（うちツアー中止6回）（前年44回（うちツアー中止13回）、平成24年59回（うちツアー中止39回））であった。

1. 知床五湖利用調整地区制度の運用

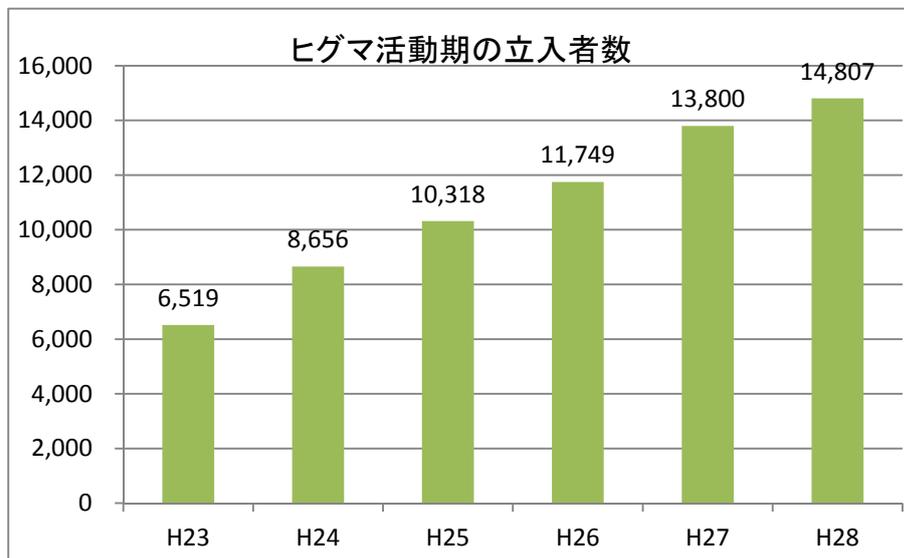
- ・平成28年度は4月20日（開園日）から知床五湖利用調整地区制度を運用中。
- ・植生保護期（開園から5月9日）における地上遊歩道の立入者数は2,188名（前年比48%減、前々年比17%増）であった。
- ・降雪量が少なく例年より早い4月27日に大ループを開放（前年は5月8日に開放）した。
- ・降雪・強風等の悪天候の影響で連休中に歩道閉鎖が相次ぎ、植生保護期の立入者数落ち込みの要因となった。



- ・ヒグマ活動期における地上遊歩道の立入者数は登録引率者を含め14,807名（前年比7%増、前々年比26%増）であった。
- ・7月末までのヒグマ遭遇は、植生保護期に2回（前年5回）、ヒグマ活動期に46回（前年44回、うちツアー中止6回（前年13回））あり、ヒグマ起因による地上遊歩道の終日閉鎖日は0日間（前年度0日間）であった。危険な遭遇事案は発生していない。
- ・7月末までの知床五湖駐車場の利用車両台数は、乗用車25,008台（前年同期比3%減）、バ

イク 1,321 台（前年同期比 9 %減）、マイクロバス 119 台（前年同期比 3 %減）、大型バス 1,836 台（前年同期比 11%減）であった。

※上記の値は現時点での速報値であり、今後修正される可能性がある。



※現状のヒグマ活動期立入者数上限は 33,781 人（1日あたり 407 人×83 日）。

2. 知床五湖の利用のあり方協議会、登録引率者審査部会の開催状況

●第34回知床五湖の利用のあり方協議会：平成28年3月8日

- ・利用調整地区制度導入後5年間の取組について評価を行った。
- ・平成27年度の制度運用結果について報告を行った。
- ・平成28年度の制度運用予定について説明を行った。
- ・平成27年度の指定認定機関収支報告及び審査部会会計報告を行った。

3. 知床五湖登録引率者に係る事項

- ・平成28年度は33名の引率者を登録（前年30名）。研修を実施中。
- ・平成28年3月2日から4月18日まで平成28年度の新規養成者募集を行い、5名が応募。養成研修を実施中。